

令和3年度 新穂中学校区

学校運営協議会だより

第1号 2021.6月

学校運営協議会事務局

新穂中学校

電話 22-2067

学校運営協議会とは？

コミュニティスクール（学校運営協議会制度）は、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みです。コミュニティスクールでは、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができます。法律（地教育法第47条の5）に基づいて教育委員会が学校に設置する学校運営協議会には、主な役割として、校長が作成する学校運営の基本方針を承認する、学校運営に関する意見を教育委員会又は校長に述べるができる、教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べるができるの三つがあります。

（文部科学省ホームページより）

新穂中学校区学校運営協議会は、平成30年12月に新穂小学校と行谷小学校と新穂中学校の三校連携型コミュニティスクールとしてスタートしました。

令和3年度委員（◎会長 ○副会長）

◎小濱 安夫（新穂地域づくり協議会）	○荒光 さゆみ（新穂中同窓会副会長）
本間 金五（新穂小PTA副会長）	成瀬 紀秀（行谷小PTA副会長）
石川 和順（新穂中PTA副会長）	高野 美津枝（新穂地区主任児童委員）
山本 寛史（新穂商工会青年部）	板垣 徹（行谷小地域コーディネーター）
宮城 勉（新穂小学習コーディネーター）	計良 健司（新穂行政サービスセンター長）
本間 健人（新穂地区公民館長）	渡邊 俊行（新穂小学校長）
永井 智祐（行谷小学校長）	小沼 泰高（新穂中学校長）
永井 繁美（CSディレクター）	

ワンワンぱとろーる・お散歩隊メンバー募集中

愛犬家や散歩をされる皆様の御協力をいただき、地域みんなで「見守りの目」を広げようという活動です。

回数、時間、コース、声をかける、報告、連絡などは任意です。

無理のない範囲で活動ください。

お気軽に登録をお願いします。

問合せ：新穂中学校（22-2067）

担当：永井ディレクター

トートバッグ(右)を差し上げます！！



第1回協議会報告

1 日時・場所

令和3年4月21日(水)

18:30~19:30

新穂中学校会議室

2 内容

- ① 今年度委員自己紹介
- ② 規則の確認
- ③ 三校のグランドデザイン承認
※グランドデザインとは、学校の経営方針や目標等を図示したものです。
- ④ 今年度取組
ア 継続事業
授業参観、あいさつ祭り(10月)、ワンワンぱとろーる・お散歩隊
イ その他
学校・地域・関係団体等との情報交換をしながら取組を企画し実施する。

パネリストの話に耳を傾け、新穂や佐渡のことを熱心に考えている中学生の姿に頼もしさを感じました。

また、授業を参観することで当会の今後の取組の参考となる話をたくさん聴くことができました。主なキーワードは、連携・参画・協同・協働・連帯、多様性、共生、責任などです。皆様におかれましても、学校と地域発展のためのお考えがございましたら、協議会にお知らせください。

※SDGs

気候変動の深刻化、海の汚染、貧富の差の広がりなどを抑制し、この美しい地球を子、孫、ひ孫と将来世代にまで遺していけるようにと、国連が定めた目標です。17の目標と169の項目から構成され、2030年を達成期限としています。

【SDGsのロゴマーク】



【当日の様子とパネリストの皆さん】



第2回協議会報告

1 日時・場所

令和3年5月26日(水)

10:30~12:20

新穂中学校

2 内容：授業参観

SDGs(エスディージーズ※)の授業を新穂地区民生委員の皆さんと一緒に参観しました。この日は、「新穂」をテーマにしたパネルディスカッションが行われました。川上高広さん(市観光振興課)、板垣徹さん(新穂地域づくり協議会)、山本絵里子さん(ヤマモトドッグスクール)、豊田光世さん(新潟大学佐渡自然共生科学センター)、相田忠明さん(新穂商工会青年部)がパネリストを務めました。(右上へ続く)